



日本の甲蟲

今回紹介する「日本の甲蟲」は、神谷一男博士と安立綱光博士が中心となって創立した甲蟲同好會が1937年～1941年にかけて出版した學術雜誌で、その編集は東京農業大学が行っていた(さやばねニューシリーズ2号に掲載された“日本の甲蟲学研究史 [新甲蟲学会第1回大会特別座談會]”を参照)。原記載論文も掲載されており、重要な論文も多く現在でも無視できないものである。内容もそうだが、毎号掲載されている美しい原色図やしっかりした製本を見ると、戦前戦中に出されたものとは信じがたい。

掲載論文の目録は出されていないようなので、以下に示す。仮名遣いなどは原著どおりとしているが、一部の漢字は現在の常用漢字に変更しているものもある。利便性を考え、エクセルに整理したのも以下のURLで公開しておく (<https://sites.google.com/site/waterbeetlesofjapan/home/others>)。なお、CiNiiで調べてみると、東京農業大学、国立科学博物館、九州大学、愛媛大学などの大学等の図書館に所蔵されているようだ。

日本の甲蟲 1巻1号 (1937年5月20日発行)

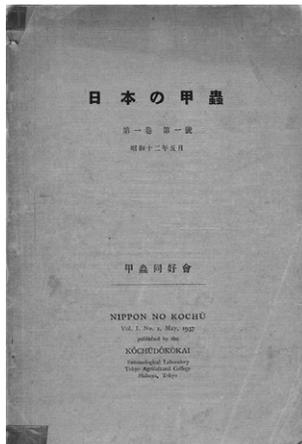
- 神谷一男: 日本産甲蟲類図譜. 1-4. (+Plate I)
- Ohbayashi, K.: Description of two new species of longicorn-beetles from Japan. 5-7.
- 大林一夫: *Strongalia aethiops* Poda ab. *adustipennis* Solsky本州に産す. 7.
- 安立綱光: *Chlorophanus grandis* Roelofsの揺籃材料. 7.
- 安立綱光: ゴミムシ類の食草. 7.
- 澤田玄正: 日本産ビロウドコガネに就て. 8-33. (+Plates II-VI)
- 神谷一男・大林一夫: 日本の天牛 (1). 37-46.

安松京三: クサアリモドキとそのsynchthransクロツヤアリノスハネカクシ及びネアカアリノスハネカクシ. 47-51.

神谷一男: イカリハンメウの分布に就いて. 51.

安立綱光: 伊豆大島のハネカクシ相 (第1報) (日本産ハネカクシ科の研究VI). 52-60.

神谷一男: 甲蟲類の生態写真. 60. (+Plate VII)

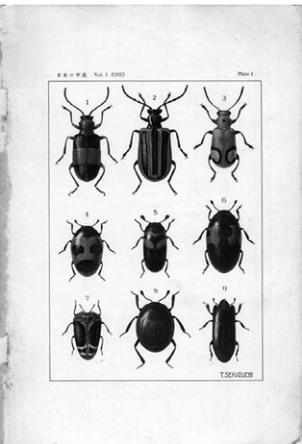


日本の甲蟲 1巻2号 (1937年12月20日発行)

- 神谷一男: 日本産甲蟲類図譜 (2). 61-64. (+Plate VIII)
- 三輪勇四郎: DAMASTER (マヒマヒカブリ) の分布に関する調査. 65-72.
- 神谷一男: メススジゲンゴラウ北海道大雪山に産す. 72.
- 神谷一男: シラホシヒメカツヨブシムシの新産地. 72.
- 安松京三: アカホシチビオホキノコムシに就いて (英彦山昆蟲雜記-VI). 73-75.
- 安松京三: デヲキノコムシ二種の食餌茸 (英彦山昆蟲雜記-VII). 75.
- 安松京三: アトコブゴミムシダマシの食餌とその卵 (英彦山昆蟲雜記-VIII). 76.
- 安松京三: 英彦山で5月にルリクハガタを採集 (英彦山昆蟲雜記-IX). 76.
- 安松京三: フタテンチビオホキノコムシ九州に産す (英彦山昆蟲雜記-XV). 76.
- 野村 鎮: 日本産コブスデコガネ属に就て. 77-86. (+Plate IX)
- 福田 彰: オホニジフヤホシテンタウに現れた鞘翅斑紋異常の一例. 88.
- 神谷一男・大林一夫: 日本の天牛 (2). 89-95.
- 白水 隆: オホセンチコガネの分布南限. 95.
- 白水 隆: ルイスチビタマムシ九州に産す. 96.
- 白水 隆: ミスヂケシタマムシの食害植物と分布. 96.
- 山本 玄: シロヘリハンメウの分布に就いて. 96.
- 澤田玄正: 日本産シマビロウドコガネムシ属に就て. 97-102.
- 澤田玄正: カミヤビロウドコガネ四国に産す. 102.
- 澤田玄正: サツマコブキコガネに就て. 102.
- 松下眞幸・玉置光一: N. N. Plavilstshikov教授とその近業に就ての感想. 103-112.
- 安立綱光: 樹上に産卵するゴミムシ. 112.
- 安立綱光: ヒメシロコブゾウムシの食草. 112-113.
- 高木三郎: マルマメエンマムシ本州に産す. 113.
- 神谷一男: *Cicindela kaleea* Bates東京に多産するか. 113.
- 山本 弘: 朽木中に越冬する岩手縣産ヲサムシ二種. 114. (+Plate X)
- 安立綱光: 新刊紹介. 116.

日本の甲蟲 2巻1号 (1938年7月31日発行)

- 神谷一男: 日本産甲蟲類図譜 (3). 1-4. (+Plate I)
- 澤田玄正: 日本産チャイロコガネ属に就て. 5-26. (+Plates II-IV)
- 土山哲夫: ヒメビロウドコガネ *Serica orientalis* Motschulskyの発音器. 27-28.
- 安立綱光: 越後粟島のハネカクシ (日本産ハネカクシ科研究資料VII). 29.
- 安立綱光: ヒラタハネカクシとその近縁種に就いて (日本産ハネカクシ科研究資料VIII). 30-32.
- 澤田玄正: 日本産アシナガコガネ亜科.



33-48. (+Plates V-VI)
 水戸野武夫: 天牛分布資料. 49-54.
 福田 彰: *Rhagonycha caroli* Pic本州に産す. 54.
 山本 弘: ヤマトダイコクに就て. 55-57.

日本の甲蟲 2巻2号 (表紙は1938年12月の発行日付で裏付は1939年3月31日発行)

神谷一男: 日本産甲蟲類図譜 (4) . 59-61. (+Plate VII)
 赤藤勇義: 東京附近に於ける *Cicindela kaleea* Batesの斑紋の変化. 62-64.
 神谷一男: オホイチモンジシマゲンゴロウ火焼島に産す. 64.
 松本賢吉: キベリハムシに関する知見. 65-67. (+Plate VIII)
 Sawada, H.: Three new *Sericania*-species from Japan (Scarabaeidae). 68-72.
 Sawada, H.: Description of a new genus and species of the lamellicorn Coleoptera from Shikoku, Japan. 73-74. (+Plate IX)
 澤田玄正: *Phyllopertha*属数種の色彩変化. 76-78.
 野村 鎮: *Aphodius troitzkyi* Jacobsonに就て. 79-80.
 澤田玄正: カブトムシの学名. 80.
 野村 鎮: 樺太産ダイコクコガネ群に就て. 81-85.
 野村 鎮: 高知市附近のダイコクコガネ群. 86.
 澤田玄正: 日本産ピロウドコガネ類2種. 87-90.
 福田 彰: *Crioceris quatuordecimpunctata* (Scopoli) var. *sibirica* Weiseに就いて (特に形態と生態の一端に関して) . 91-96.
 福田 彰: *Thranis variegatus* Bates (Cerambycidae)に就て. 97-98.
 福田 彰: *Ptinus fur* Linnaeus米穀を加害す. 98.
 福田 彰: ハクカハムシ *Chrysomela aurichalcea* Mannerheimに現れた鞘翅畸形の1例. 99.
 福田 彰: *Coccinella septempunctata* Linnaeus subsp. *Bruckii* Mulsantの異常斑紋の1型に就いて. 100.
 福田 彰: Chrysomelidae 2種の食草. 100.
 澤田玄正: アカピロウドコガネ属の属名及び数種ピロウドコガネの種名. 101-102.
 澤田玄正: *Sericania orientalis* Motschulsky樺太に産す. 103.
 澤田玄正: *Autoserica okamotoi* (Murayama)青島に産す. 103.
 澤田玄正: *Adoretus tenuimaculatus* Waterhouse臺灣に産す. 103.
 澤田玄正: 臺灣産 *Hoplia* の或種に就て. 104.
 矢後正俊: ゴミムシ類蓼の種子を加害す. 105.
 澤田玄正: ハナムグリ類の脱脂. 105.

日本の甲蟲 3巻1号 (1939年11月30日発行)

神谷一男: 日本産甲蟲類図譜 (5) . 1-4. (+Plate I)
 安立綱光: シデムシの母性愛. 4.
 安立綱光: 日本のハネカクシ(1) (日本産ハネカクシ科研究資料X) . 5-10.

近藤英夫: オホトラフコガネに於ける鞘翅の色彩変異の一例. 10.
 西島 浩: マダラクワガタ生活史. 11-16. (+Plate II)
 西島 浩: 北海道より記録さるべき *Tritominae* 亜科. 16.
 西島 浩: *Glycyphana fulvistemma* Motschulsky北海道に産す. 16.
 野村 鎮: *Trichius fasciatus* と *T. japonicus* に就て. 17-20.
 安立綱光: ゴミムシ類の大量採集法. 20.
 三輪勇四郎: 瓢箪歩行蟲記. 21-25.
 安立綱光: 便利な針さし臺. 25.
 神谷一男: 日本産水棲甲蟲類 [1] 牙蟲類 (1). 26-31.
 神谷一男: *Corymbi tescastaneus* Linne本邦に産す. 31.
 神谷一男: 甲蟲類の生態写真(2). 34. (+Plates IV-V)
 神谷一男: 日本産ゲンゴロウ科の1新種. 32-33.
 Nomura, S.: Drei Neue Coprophagiden-Arten aus Japan. 35-37.
 野村 鎮: 青島産ダイコクコガネ群目録. 38-40.
 Sawada, H.: Three new lamellicorn beetles from Formosa. 41-46. (+Plate VI)
 澤田玄正: *Apogonia amida* Lewisの分布. 46.
 福田 彰: *Damaster* の食性に関する1観察. 47.
 Sawada, H.: Some lamellicorn beetles of the subfamily *Sericinae*. 48-51.
 安立綱光: ゲンゴロウの呼吸. 51.
 安立綱光: 便利な腐肉採集装置. 52.
 安立綱光: ヲサムシの罨. 52.

日本の甲蟲 3巻2号 (1940年12月30日発行)

三輪勇四郎・中條道夫: 本邦産タマムシ科の新種及稀種図説. 53-74. (+Plate VII)
 Chûjô, M.: Some new and hitherto-unrecorded species of the scarabaeid-beetles from Formosa. 75-77.
 Chûjô, M.: Descriptions of two new erotylid-beetles from Japan proper. 78-81.
 神谷一男: 日本産甲蟲類図譜 (5) の訂正. 81.
 中條道夫: 日本産大茸蟲科雑記 (I). 82-89.
 佐藤貴暢: *Balaninus* に属するシギザウ3種. 89.
 福田 彰: 数種の日本産金花蟲に就いて. 90-94.
 鈴木眞司: 九龍蟲の生態について. 95-105.
 神谷一男: 鈴木眞司君の戦死を悼む. 106.

日本の甲蟲 4巻1号 (1941年6月30日発行)

澤田玄正: 日本産ヒラタハナムグリ亜科の研究 (第2報) . 1-14. (+Plate I)
 田中 粹: カナブン *Rhomborrhina japonica* Hope♂の翅鞘に現れたる一畸形に就きて. 14.
 Yano, Y.: A list of Carabidae from Corea. 15-36.
 竹内誠一: 東北地方の大茸蟲科. 37-41.
 Sawada, H.: A revision of the ruteline beetles of the genus *Phyllopertha* in the Japanese empire. 42-58. (+Plates II-V)

(愛媛大学ミュージアム 吉富博之)